

(一社)日本バングラデシュ協会講演会

バングラデシュの結核対策の発展—私の 40 年の関りから振り返る

The development of TB (Tuberculosis) control in Bangladesh:  
Reflection from my collaborative experience during the past 40 years since  
1978

石川信克先生(Dr. Nobukatsu ISHIKAWA)は、1942 年群馬県生まれの医師。結核予防会結核研究所に入所後、78~86 年 JOCS(日本キリスト教海外医療協力会)の派遣ワーカーとしてバングラデシュに滞在し、現地 NGO の CHCP 及びバングラデシュ結核予防会に関わり、現地の保健医療協力活動に従事。帰国後、結核予防会結核研究所に復職し、国際協力部長、副所長を経て 06~18 年は結核研究所所長。現在は、同名譽所長、結核予防会代表理事を務め、バングラデシュなどの結核対策に関わり続ける。91 年~09 年は JOCS 理事。05 年大山健康財団賞、07 年保健文化賞を受賞。



本講演では、結核とはどんな病気か、なぜバングラデシュに結核が多いか、1970-80 年代の結核対策の問題点、90 年以降の結核対策の飛躍的発展、現在の結核状況と課題、協力隊を含めた日本政府の支援、石川先生の関りとメッセージ等についてお話しいたします。

日時:2020 年 10 月 16 日(金)18:30~20:30 (Oct. 16, 2020)

参加:先着 70 名、Zoom での参加

(お申し込みの方に後日 URL とパスワードをお知らせします)

申込先: <https://forms.gle/rYaUeF6arsitu2kp8> (Google フォームでのお申し込み)

お申し込みの締め切りは 2020 年 10 月 12 日(月) 16:00まで

参加費:無料

参考資料:「日本-バングラデシュ国交樹立 40 周年記念インタビュー 絆がつなぐバングラデシュ結核対策の歴史- Go to the people(人々のもとへ)- 2012 年 7 月 19 日

\*石川信克氏(結核予防会結核研究所所長)へのインタビュー」JICA の HP

<https://www.jica.go.jp/bangladesh/office/information/event/120719.html>



主催:(一般社団法人)日本バングラデシュ協会 The Japan-Bangladesh Society(JBS)

協力/後援:(公益財団法人)結核予防会(Japan Anti-Tuberculosis Association)、(公益社団法人)日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)、(認定 NPO 法人)シャプラニール:市民による海外協力の会(Shapla Neer)、国立国際医療研究センター(NCGM)